

奈良県産の「お風呂のハーブ」でにっぽんを、もっと元気に

チアフル株式会社 奈良県奈良市

■植物のパワーを現代の暮らしに活かしたいと起業

大学卒業後、大手住宅メーカーに勤務していた松本梓社長は2016年3月、チアフル株式会社を設立。社名の「チアフル」は、「応援する・元気にする」という意味。同社の経営理念である「にっぽんを、もっと元気に」の想いが込められている。

起業のきっかけは、大和当帰^{やまととうき}のお風呂に出会ったこと。ほんのり色づいたお湯とほのかな香り、冷え性で悩んでいた身体が芯から温まった効果から日本の植物のパワーを強く感じたという。この感動を身近な商品として届けることが、自然の素晴らしさや日本文化を見つめ直す機会となるのでは、と起業を決意した。

■奈良県産の植物の恵みが心とからだを調和する

日本古来の植物の恵みがじわじわと染み入り、疲れた心とからだに調和をもたらすようバスグッズ「jiwajiwa（じわじわ）」を開発。

jiwajiwaの「お風呂のハーブ」は、奈良県産の自然素材100%。合成香料、着色料、保存料、防腐剤など化学成分は一切含まない。原材料には無農薬・無化学肥料で育った植物を用い、さらに端材^{はざい}（根元近くなど通常廃棄される部分）のみを使用している。安心・安全な地元素材にこだわる松本社長は、原材料は生産者と会って直接仕入れ、また、植物の植え付けや収穫にも取り組んでいる。

自然素材は肌への負担が少ないため、赤ちゃん（生後3か月以上が目安）やアトピー・敏感肌の方、妊婦など、一般的な入浴剤の使用を控える人々からも好評を得ている。

■地方創生と社会貢献の2本柱で地域を盛り上げる

jiwajiwaは東京・大阪・京都など都市圏へも販路開拓し、百貨店、雑貨店など50店舗で販売中。松本社長は「jiwajiwaの商品を通じて奈良の地域資源の素晴らしさを県外の人にも知っていただき、

奈良により活気をもたらしたい」と話す。

また、同社は県内の就労機会の創出にも注力している。オリジナルの巾着にハーブを詰める作業は、県内の障がい者福祉施設に依頼。生産工程を分担する方が作業は効率的だが、松本社長は「作品の仕上がりを実感して欲しい」と1事業所が最初から完成まで仕上げるシステムを重視する。単純な作業をこなすだけでなく、少し難しい作業ができるようになることで、作業スタッフが自信を持ち、就職など次のステップに繋がっている。

■日本の自然を感じられる豊かな暮らしを提案

今年4月、事務所をならまちの古民家に移転。現在は建物を改装中で、今秋には古都・奈良の風情あふれる直売店舗が完成する予定。事業領域としては、jiwajiwaのような地域産品の開発・小売から、デザイン、コンサル、イベントなど地域産業の活性化につながるサービスを提供していきたいという。「今後も地域の人々とともに地域資源を活用したブランドづくりに取り組み、地域ならではの魅力を発信していく。奈良を拠点に、それぞれの地域の文化を日本全国、そして世界へつなげたい」と、松本社長の夢は広がっている。

（八木陽子、吉村謙一）



jiwajiwaの「お風呂のハーブ」ゆず・レモングラス、ひのき、よもぎ・大和当帰葉（左）、見た目が可愛いオリジナルの巾着とハーブ（右）

チアフル株式会社

〒630-8328
奈良県奈良市花園町 20
TEL: 0742-42-6268
FAX: 0742-90-1123
URL: <https://cheerfull.co.jp/>



松本梓 社長